

2021 年度春期

スーパーバイザー士筆記試験

2021 年 9 月 7 日 (火) 実施

13:30~14:30

3. 財務・問題解決

(該当講義 講義③、⑥、⑦)

答案作成上の注意

- ◇ 解答用紙の所定の欄に氏名を記入してください。
- ◇ 係りの合図があるまではこの表紙をあけないでください。
- ◇ 解答は解答用紙に記入してください。
- ◇ 試験時間は60分です。
- ◇ 試験開始後30分で退出できます。
- ◇ 退出される際には、出入口にいる事務局員に解答用紙を提出してください。
- ◇ 再入場はできません。



一般社団法人

日本フランチャイズチェーン協会

財務諸表の知識(税務含む)

【問題 1】 配点 40 点 (各 2 点)

次の①～⑩の取引から解答用紙の貸借対照表を作成してください。特に記述のない場合には、それぞれの取引は現金で行ったこととします。また、消費税については考慮しないで解答してください。なお、解答にあたっては数字の単位に十分気をつけてください。

- ① 当社は 01 年 4 月 1 日に資本金 1,000 万円で設立しました。決算期は 3 月 31 日です。今期の事業年度は 01 年 4 月 1 日～02 年 3 月 31 日 (以下、「今期」という)
- ② 今期の売上高は 1 億 5,000 万円であり、このうち 600 万円は未回収 (売掛金) です。
- ③ 今期の仕入高は 7,000 万円であり、このうち 500 万円は未払い (買掛金) です。
- ④ 02 年 3 月 31 日に商品の棚卸しを行った結果、仕入金額ベースで 150 万円分ありました。
- ⑤ 今期の役員・従業員に対する給与は総額で 2,400 万円でした。
- ⑥ 01 年 4 月 1 日に金融機関から 1,000 万円借入れをしました。返済期間は 7 年です。今期の元本返済額は 200 万円であり、今期はこの元本返済の他に支払利息 20 万円を支払いました。
- ⑦ 固定資産 (器具備品) の購入価額は 1,000 万円であり、01 年 4 月 1 日から事業用として使用しています。
- ⑧ 上記⑦器具備品の耐用年数は 10 年 (定率法による償却率は 0.20) です。定率法により今期の減価償却費を計算してください。
- ⑨ 今期に支払った家賃は 2,000 万円でした。
- ⑩ その他今期の諸経費として 1,500 万円支払いました。

尚、カッコ内に記入する勘定科目については、以下の中から適切な勘定科目を選択して解答してください。

【勘定科目】

売掛金	買掛金	未払金	長期借入金	社債	売上金
仕入金	受取利息	支払利息	売上総	売上純	仕入総
仕入純	販売	営業	一般		

貸借対照表 02年3月31日現在

勘定科目	金額 (円)	勘定科目	金額 (円)
現金		()	
()		()	
商品	1,500,000		
器具備品	10,000,000		
減価償却累計額△	2,000,000	資本金	10,000,000
器具備品差引残高		(経常利益)	
資産の部計		負債・純資産の部計	

損益計算書 (01年4月1日～02年3月31日)

	金額 (単位: 円)
売上高	150,000,000
仕入高	70,000,000
期末商品棚卸高	1,500,000
売上原価	
() 利益	
販売費及び一般管理費	
給与	24,000,000
減価償却費	
地代家賃	20,000,000
諸経費	15,000,000
販売費及び一般管理費計	61,000,000
() 利益	
()	
経常利益	

計数管理の知識

【問題 2】 配点 18 点 (各 2 点)

次の文章を読み、正しいものに○、誤りのあるものに×を解答欄に記入してください。

- ① 総資産経常利益率は、運用している純資産でどの位の経常利益を生み出したかを示す。
- ② 売上高の向上により、総資産回転率を高めることができる。
- ③ 売上高営業利益率を向上させるためには営業外費用を削減することが必要である。
- ④ 商品の廃棄ロスを削減することは、売上原価率の低減に結び付く。
- ⑤ 損益分岐点比率が 100%を下回った結果、損失が拡大したと判断できる。
- ⑥ 損益分岐点の引き下げは、変動費率の引き上げと固定費の引き下げにより実現できる。
- ⑦ 流動比率は、100%以下が理想とされる。
- ⑧ 固定長期適合率が 100%を超える企業の支払能力は良好である。
- ⑨ 自己資本比率向上は、収益性を改善し、利益を上げて内部留保することで実現できる。

【問題 3】 配点 12 点 (各 4 点)

下表はラーメン店を運営するフランチャイズ加盟店の月次損益計算書です。コロナ禍による県の時短営業要請により、売上高が急減しました。次の文章の空欄に適切な記号 (大文字のアルファベット) を語群より選択し、解答欄に記入して下さい。

項目		金額(千円)	構成比
売上高		3,862	100.0%
売上原価		1,325	34.3%
売上総利益		2,537	65.7%
販売費・一般管理費		3,090	80.0%
販管費の内訳	人件費	1,871	48.4%
	水道光熱費	229	5.9%
	販売促進費	100	2.6%
	減価償却費	200	5.2%
	地代家賃	440	11.4%
	その他(ロイヤリティ含む)	250	6.5%
営業損失		-553	-14.3%

当店の損益分岐点売上高は、売上原価を変動費、販売費・一般管理費を固定費とすれば (①) になる。したがって、損益分岐点比率は (②) である。固定費及び変動費率に変化がない前提で、営業利益 500 千円を確保するためには、目標売上高は (③) が必要になる。

【語 群】
 A.4,704 千円 B.5,465 千円 C.133.4% D.121.8% E.5,152 千円 F.5,032 千円

問題解決手法

【問題 4】 配点 24 点（各 2 点）

以下の問いに記号で答えなさい。

1. 問題にはいくつかの型がありますが、以下の記述で正しいものを選びなさい。
 - ア) 発生型問題とは、現状をもっと良くしたいというところから生じる問題である。
 - イ) 探索型問題は、原因志向型問題とも呼ばれている。
 - ウ) 設定型問題とは、現在設定している目標との差異が生じた場合の問題を指す。
 - エ) 未達問題は、発生型問題のうちの一つのパターンである。
 - オ) 回避問題は、発生型問題のうちの一つのパターンである。
2. 問題を把握するために必要なものはどれか、以下から選びなさい。
 - ア) あるべき姿（目標）
 - イ) 原因
 - ウ) 現状
 - エ) 課題
3. M E C E になっているのはどれか？
 - ア) 飲み物は、清涼飲料と炭酸飲料に分解できる。
 - イ) 飲み物は、ノンアルコール飲料とアルコール飲料に分解できる。
 - ウ) 飲み物は、お酒と炭酸飲料に分解できる。
4. 定量的に分解する場合、間違っている式はどれか？
 - ア) 売上高 = 客数 × 客単価
 - イ) 営業利益 = 売上総利益 - 固定費
 - ウ) 売上総利益 = 売上高 - 変動費
5. 問題を絞り込む方法について、以下の記述で正しいものはどれか？
 - ア) 時系列や他店との比較は、絞り込む際の視点として有効である。
 - イ) 自店の問題なので、競合や他店との比較はあまり有効ではない。
 - ウ) K P I は、大企業には有効だが、中小のチェーンにはあまり役立たない。
6. 原因究明について以下の記述で正しいものはどれか？
 - ア) 原因は問題を裏返すことで容易に究明できる。
 - イ) 3C 分析は、原因究明のフレームワークとして有効である。
 - ウ) 原因を絞り込む際には、以前と比較して変化の大きい要素を特定することがポイントとなる。

7. S Vが行う問題解決に関する以下の記述について、正しいものはどれか？

- ア) S Vは、本部の理念や方針を正しく理解していなければならない
- イ) S Vにとって、加盟店の売上を上げることが最も重要であり、利益までは考慮する必要はない
- ウ) S Vは担当店舗の問題を店長に代わって解決する存在である
- エ) 問題が発生したら、まずは「なぜ (W h y) ? 」と問いかけるべきだ
- オ) 細かい原因分析を行ったうえで対策を考えるよりも、経験に基づいた対策をすぐに実施する方が大切だ
- カ) S Vは、常に正しい解決策を加盟店に提案しなければならない
- キ) 担当店舗の問題解決は、オーナーや店長と問題の共有を行うことが出発点である
- ク) 問題の細分化は、原因がわかりづらくなるため行うべきではない
- ケ) S Vは個人プレーなので、担当店舗の問題解決の実績を他のS Vと共有する必要はない
- コ) 問題解決を正しく行うには、真の問題とはなにかを明確にすることが重要だ

【問題 5】 配点 6 点 (各 1 点)

以下の文章の空欄に正しい言葉を語群から選びなさい。

問題解決を図るうえで、解決策をいくつか列挙した中から優先順位の高いものを選択する際には、リスク、(①)、実現可能性、(②)、(③) をそれぞれ評価して絞り込んでいきます。チェーンとして、問題解決のノウハウ化を進めるためには、問題解決のプロセスと (④) を記録に残し、(⑤) にかかわらず (⑥) 情報共有を行う体制を整備することが重要です。

(語群)

ア) 結合改善	イ) 成果度合い (効果度)	ウ) 成果	エ) コストバランス
オ) アウトプット	カ) 信用度	キ) スピード	ク) インプット
ケ) 成功・失敗	コ) 大・小	サ) 個別に	シ) 取り組み
ス) 組織的に			